令和７年度　地域おこし協力隊導入及び体験プログラム実施業務　特記仕様書

１．業務名

令和７年度　地域おこし協力隊導入及び体験プログラム実施業務

２．適用

吉富町（以下「発注者」という。）が発注する、令和７年度　地域おこし協力隊導入及び体験プログラム実施業務（以下「本業務」という。）に適用するものとし、受注者が遵守すべき事項を定めるものである。

３．業務内容

地域おこし協力隊１名の導入に係る隊員の募集を行い、応募者を選考後、合格者に体験プログラムを実施する。また、応募者の選定にあたり、適切な支援を行う。

（１）隊員の募集及び選考時における適性確認業務

・発注者が必要とする人材像を明確にし、人材要件の設定を行うこと。
・費用対効果の高い採用手法により、隊員の募集を行うこと。
・書類選考および面接に合格した隊員の選考にあたり、次の（２）により行われる体験プログラム業務を効果的に運用して隊員の適性判定を行うこと。

（２）　体験プログラムに関する業務

・応募者に体験プログラムを実施し、本町で活動する際の適性を判定する。
・活動内容として発注者は「町の広報活動、SNS を活用した情報発信」をはじめ、「町の魅力を写真で表現」してもらうなど、カメラの技術や専門的なデザインスキルを必要とした活動を想定して受注者は基本案を策定しておくこと。
・国の地域おこし協力隊推進要綱により、応募者の体験経費については受注者負担とするが、本町までの往復の旅費等については応募者負担となっているため注意すること。
・体験プログラム中において本町の考え方やそれに伴う活動内容における助言や提言を行う。

（３）　隊員の活動の指導及び支援に関する業務

・隊員が円滑に活動できるよう、必要な指導及び支援を行うこと。
・隊員の意向を踏まえて、活動の目標設定等により意欲的な活動を促すこと。
・発注者、隊員、受入地域（団体など）の３者間の調整なども支援すること。

４．委託期間

契約締結の日の翌日から令和８年３月３１日（火）

５．業務場所

吉富町

６．成果報告書の提出

（１）報告書（印刷製本、Ａ４版）　３部
（２）報告書のデータを収めた電子データ一式（ＣＤ－Ｒ又はＤＶＤ－Ｒ）１部

７．業務の進め方

（１）受注者は、業務に先立ち実施スケジュール等を作成し、発注者の承認を得て業務を実施すること。
（２）受注者は、発注者の意図及び目的を十分理解した上で、本業務を総括する責任者及び適正な人員を配置し、発注者との連絡・調整を密にしつつ、本仕様書及び企画提案書に則り効率的に業務を進めること。
（３）受注者は、適切な実施体制とスケジュールにより業務を実施することとし、その実施に当たっては、進捗状況及び今後の進め方等を発注者に逐次報告するほか、必要に応じて打合せを行うこと。打合せ後は記録簿を作成し、相互に確認すること。
（４）本仕様書に定めのない事項については、その都度発注者と協議を行い、処理すること。

８．その他

（１）受注者は、関係法令及び条例を遵守し、個人情報及び発注者並びに関係者から提供を受けた資料・情報等については、管理・保管を十分に行うとともに、情報の外部漏洩に細心の注意を払うこと。
（２）受注者は、業務上知りえた秘密を第三者に漏らしてはならない。本業務終了後も同様とする。
（３）受注者は、不測の事態により業務を実施することが困難になった場合には、遅延なくその旨を発注者に連絡し、その指示に従うものとする。
（４）受注者が業務の実施に伴い第三者に損害を及ぼしたときは、受注者の責任においてその損害を賠償しなければならない。